

講演2 (韓国講演)

医薬品流通産業の価値の向上、その商業機能の探索

Samwon Pharmaceutical Co.,Ltd CEO 宋 旭秋



講演2では、韓国の宋旭秋氏が、韓国の医薬品流通産業の価値の向上と商業機能について説明した。まず、韓国のヘルスケアの現状と世界の製薬産業の状況を分析し、韓国の医薬品流通業界の現状を紹介。その上で、韓国の医薬品流通業界が生き残るための対策について述べた。

日時：2017年5月16日(火) 9:00~09:40
会場：中国・上海虹橋錦江ホテル(元シェラトン上海虹橋ホテル)
3F 宴会ホール

はじめに

こんにちは。私は韓国の宋旭秋です。サンウォン薬品のCEO、また韓国医薬流通協会の理事を兼任しています。本日ここで講演することをとても光栄に思っています。このフォーラムに多くの方が参加していることをとてもうれしく思っています。こんなに大きな会場だとは思わなくて驚いています。

講演は、「医薬品流通産業の価値の向上、その商業機能を模索する」というタイトルですが、簡単に言いますと、いかに医薬品流通業界を発展させるか、ということです。

テーマに関しては4つの内容があります。韓国のヘルスケアの現状、製薬産業の状況の分析、韓国流通業界の現状、そして最後はこのテーマについての私のコメントです。

韓国のヘルスケアの現状

韓国は、ご存じのように国民皆保険が普及しています。医薬品流通に関して、公共医療の分野でどういう発展をしているかを紹介します。2014年の保険財政支出は105兆ウォンになっています。また急速な発展を続け、年平均で10.5%の伸びを示しています。対GDPの割合は、2000年の4%成長以降も順調に伸び、2014年には7.1%と順調な成長を示しています。

韓国でも高齢化が著しく、また慢性疾病なども増えています。これは韓国同様、世界の製薬企業にも大きな影響を与えていると思われます。

製薬産業の状況の分析

世界の製薬企業、製薬市場のトレンドを見ますと、皆さんもご存じのように、規模が大きく成長もか

なり速いのですが、この成長をけん引しているのは、バイオ医薬品、スペシャリティ医薬品です。

世界では、バイオ、高分子薬を合わせると23%ぐらいを占め、シェアが上昇しています。バイオシミラーはバイオ医薬品に比べるとまだ割合が小さいですが、進展のスピードがめざましいのです。

韓国の製薬市場の現状を見ますと、この3年間で6%以上の成長が見られます。GDPに比べても伸びています。

韓国医薬品流通業界の現状

2012年に韓国で6000品目の薬価の引き下げが行われました。2015年にも5000品目の薬価引き下げがありました。しかし、韓国の製薬企業は成長をしており、その要因の1つは、医薬品の市場は公共医療の分野なので政府が国民の医療保障を確保しなければならないからです。また、高齢化、慢性疾患の増加など、薬価の引き下げをしても処方箋量が増えているので、全体の市場が6%以上の成長を示しているのです。

もう1つの要因としては、バイオシミラーの成長がすさまじく、バイオ製剤などの価格も高く、これらの費用が医療保険にも反映されています。

このようなことにより、アメリカ、ヨーロッパなどの海外に比べると、バイオ製剤の伸長はそんなに大きくないですが、全体的に見ると医療市場全体での伸長は高いのです。

ほかの分野に比べても医薬品業界の発展は高い

ほうで、薬価の下方修正が行われても伸長はしていると思います。

また韓国の医薬流通のルートを見てみますと、クリニック・小売は70%を占めて病院は30%を占めています。

韓国では、処方箋薬はOTCより様々な制限があり、OTCの販売が制限されています。韓国政府もこのOTCに対してこれからもう少し改正をし、販売を促進する考えです。政府の政策面から見ますと、小規模な製薬企業の規模を大きくすることを考えています。政府も国際市場などを見据えた政策を作るなど、5つの政策を打ち出し、また製薬業界の育成に関連する5か年計画を打ち出しています。

それでは韓国の医薬品流通業界の構造を見てみましょう。

最近5年の間に、医薬品流通企業を通じた流通割合が、5年前の82.6%から上昇し、おそらく86.7%を占めています。我々の立場から見ると、やや楽観的な見方をしていると思います。今、成長は鈍化していますが、今後は急成長が期待できます。

もう1つ、政府に登録している流通企業の数も増えています。我々の予測によりますと、韓国国内で登録されている流通企業数は2036社あり、多すぎるために競争が激しくなっています。医薬品流通企業が流通の86.7%を占めている中で、医薬品供給額上位5%にあたる56社で、全体の55.4%の流通を占めています。

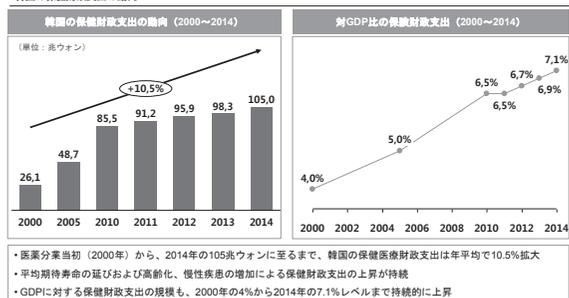
(사) 한국약리학회

QuintilesIMS

韓国の保健財政支出の動向

韓国政府による持続的な保健財政支出の拡大が、製薬・ヘルスケア市場の成長を牽引している。高齢化や慢性疾患患者の増加といった社会的状況を背景に、製薬市場の持続的な成長が見込まれている。

韓国の保健財政支出の動向



Source: QuintilesIMS Health, NKI, KOSIS

(사) 한국약리학회

QuintilesIMS

韓国の製薬産業政策の現状および方向性

政府は、製薬産業を新たな成長戦略の1つと位置付け、世界に向けた輸出を強化し、新薬開発大国への転換による経済成長を誘導。さらに、成長の可能性ある革新的な製薬会社に対しては、薬価および規制上のインセンティブを与えることにより、世界的な製薬会社に成長するための基礎を構築する。

政策の方向性 新薬開発と世界市場の開拓による製薬産業の先進化	現状&問題点 【現状】 世界市場の成長&構造変化 ・ 新興市場の成長およびバイオ医薬品の比較増加 ・ 新興市場の構造変化により、新たな市場進出機会が拡大 【問題点】 国内の製薬会社は、成長可能性はあるが等質である ・ ジェネリックと内製に集中 ・ 製薬業界の育成支援(5ヶ年総合計画)の推進
3大重点推進課題 #1 先端次世代医薬品およびワクチンに関する戦略的な研究開発の支援強化 ・ 基礎研究成果の製薬企業への移転、実用化支援 (2018) ・ 新薬および将来の有望分野に対する研究開発支援の拡大	世界レベルの革新的新薬およびバイオ医薬品に対する支援の拡大 ・ 世界レベルの革新的な新薬およびバイオ医薬品の薬価改善と迅速審査の促進 ・ 初回導入時のバイオ医薬品の薬価改善
製薬産業発展のためのインフラ作り ・ 海外輸出のための国際的な研究協力 (2017) ・ 海外輸出のための生産および流通の現地化支援	

Source: バイオヘルスケア産業入りに向けた製薬産業政策発展戦略 (2016.03, 国家薬政院発表)

政府の希望としては、医薬品流通企業の規模をもう少し大きくしたいというわけです。

今後どう生き残るのか

最後となりました。韓国の医薬品流通業界が今後どう生き残るのか、どう対策を打っていくのかについての話です。

まず、公共性を強化する必要があります。2014年のブルームバーグの報告によりますと、韓国の医薬品の効率性は世界で5番です。1位はシンガポール、そして日本等に続き韓国は5位に入っています。韓国の医薬品の効率性はやや高いと思います。その理由の1つは、全国民に皆保険制度を導入しているからです。もう1つ、医療用医薬品の価格は政府によって決められています。ですから公共性に関しては、韓国は今後ますます強化されていきます。

2017年7月から私たちは新しい政策を施行します。2000年あたりに似たような制度を打ち出したわけですが、最初は大変困難でした。しかし公共性を強化するため、流通業界に透明性を期待したわけです。

7月1日から新しいナンバー制の政策が施行されます。また、毎日、流通業界の情報を政府に報告する義務ができました。どの医薬品がどの病院で、どのような形で流通されているのかについて毎日報告する義務があります。これはわれわれにとって大変大きなチャレンジです。

1つ目は、公共性に関してですが、韓国の医薬品流通はもっと競争力を高めようとする、公共性をさらに強化する必要があります。また、中身が見える化、透明性を高める必要もあります。これらは、生き残りの最高の手段だと考えています。

2つ目は、販売に関してさらに強化する必要があります。韓国国内での製薬企業はそれぞれ営業に力を入れています。グローバル企業の医薬品の特許が切れたあと、国内でそのジェネリック薬を販売することになります。現在はマーケット自体は活発とはいえませんが、しかし多くの卸業者はすでにこの部分に着手をし始めているわけです。また規模はそれほど大きくありません。今後、これらについてもっとチャンスを期待します。

3つ目は、多角化戦略です。例えば、病院の中の物流、もしくはITシステムをうまく活用して病院内の物流を改善する提案をしていくこと。物流の効率化は重要な話題です。

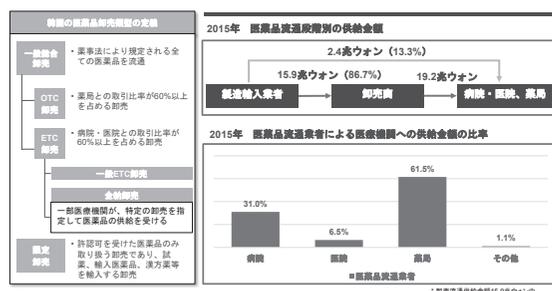
先進国では、一歩先に進んで、これらの物流の効率を高めてきました。我々は高い付加価値の物流システムを導入したいと考えます。

これは1つの方法だと思います。お話をしたこれらの4点は、今後我々が直面する問題であり、これらの問題を解決できれば業界も会社もともに発展できると思います。



韓国の医薬品流通産業の構造

製造・輸入業者による流通金額は118.3兆ウォン規模。このうち86.7%にあたる15.9兆ウォンを医薬品流通業者が担当し、13.3%にあたる2.4兆ウォンは製造・輸入業者が医療機関に直納している。流通業者の流通チャネル別の比率は薬局が61.5%、病院が31%、医院が6.5%となっている。



韓国の医薬品流通の価値向上と上流機能の革新

医薬品流通産業に対する価値の再認識と上流機能の強化による役割の革新が必要。営業およびマーケティング力の強化による競争力改善と事業の多角化による新たな収益モデルの創出、さらに原価引下げによる経営実績の改善が求められる。

医薬品流通の価値向上と上流機能強化のための戦略的提案

医薬品流通業者の役割の革新 および 上流機能の強化	1	営業およびマーケティング力強化戦略 (流通のうる、マーケティング or 営業の比重を30%↑)
	2	事業多角化戦略
	3	物流の効率化

- 戦略的製品の導入 (License-in)
- 製造業者とのCo-Marketing強化
- 戦略的提携 (IMS等のマーケティングコンサルティング会社)
- 病院内物流専門事業を展開
- 既存の流通市場を拓出した医療機器市場への進出
- 政策変化に伴うヘルスケアサービスへの進出
- 特殊医薬品等、付加価値の高い物流
- 地域ごとに共同物流ネットワークを構築